

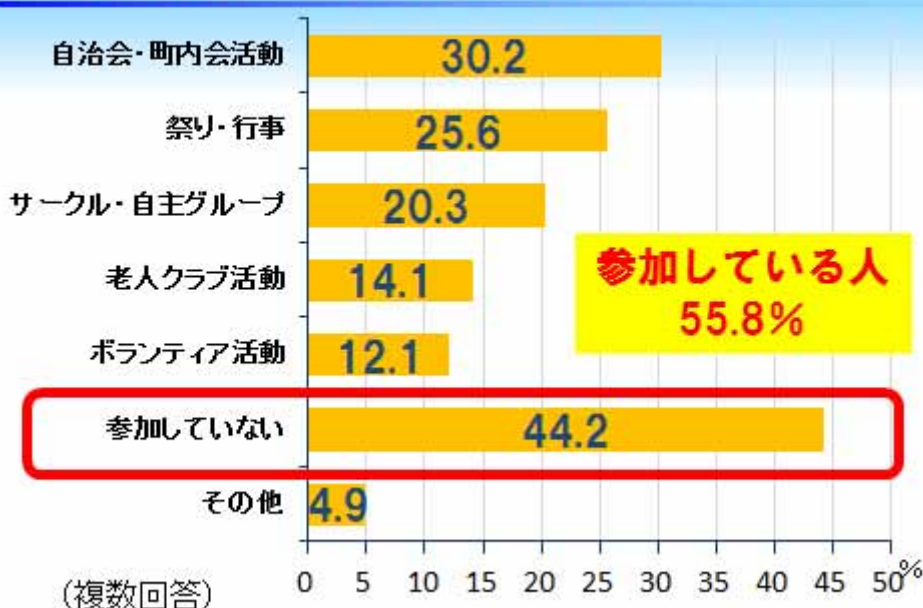
## 市内の在宅のひとり暮らし高齢者・ 高齢者のみの世帯に属する人数

区 分		平成17年	平成20年	平成23年
ひとり暮らし高齢者		29,828人	33,952人	37,528人
	(構成比)	(17.4%)	(17.7%)	(18.2%)
夫婦2人暮らし	ともに65歳以上	58,664人	69,005人	76,296人
	(構成比)	(34.1%)	(36.0%)	(37.1%)
	1人のみ65歳以上	12,177人	13,134人	13,093人
	(構成比)	(7.1%)	(6.8%)	(6.4%)
その他世帯 (子ども同居等)	全員65歳以上	3,415人	3,964人	4,271人
	(構成比)	(2.0%)	(2.1%)	(2.1%)
	その他	67,720人	71,591人	74,385人
	(構成比)	(39.4%)	(37.4%)	(36.2%)
小計(網掛け)		91,907人	106,921人	118,095人
	(構成比)	(53.5%)	(55.8%)	(57.4%)
合 計		171,804人	191,646人	205,573人

4

広島市における高齢者の地域活動への参加状況ですが、要介護・要支援認定者ではない方々のうち、約56%とかなりの方が参加していますが、一方で参加していない方は約44%です。65歳以上を機械的に高齢者で、支援が必要だという先入観で見ますと、大変だということになるのですが、今後は団塊の世代の方も高齢者の仲間入りをされていきます。元気で活動的な高齢者の方がどんどん増えています。さらに、地域活動に参加される方がいらっしゃる。また、地域活動に参加されない方もいらっしゃる。この辺に社会の元気を維持する鍵があると考えています。

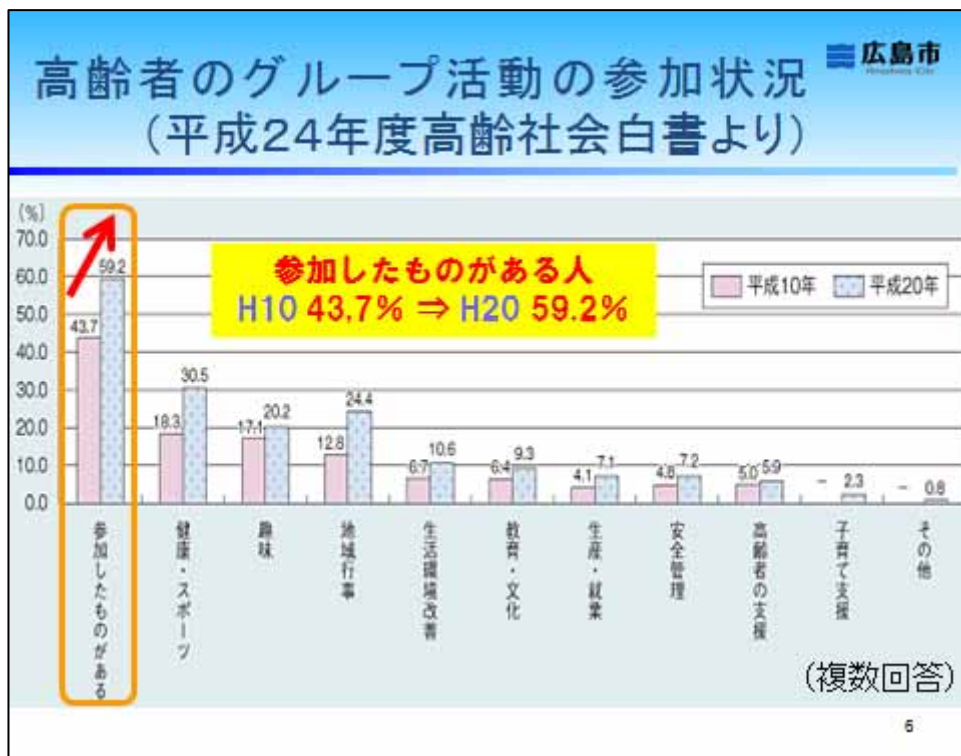
## 高齢者の地域活動の参加状況(広島市)



5

今年の国の「高齢社会白書」に掲載されている、高齢者のグループ活動の参加状況の10年前との比較です。

参加したという人がかなり増えており、先ほどの広島市と同様、参加した人が6割弱、ほぼ同じ程度の割合になっています。参加した人の割合がどんどん増えていきますし、まだまだ増える余地もあるという状況です。



以上まとめますと、高齢化の進展により4人に1人が高齢者となる一方、元気で活動的な高齢者が増えていて、まさにこれからの高齢社会の活力維持、社会の元気の鍵を高齢者の社会参加が握っていると言えます。

- 少子高齢化の進展により、  
生産年齢人口が減少
- 人口の4人に1人が高齢者
- 元気で活動的な高齢者の増加

社会の活力を維持  
するためには…



高齢者の積極的な社会参加が必要

7

### ○広島市での市民活動の取組み

そういう面でいろいろな社会参加の形態がありますので、少し広島市での取組みをご紹介します。

最初に、広島らしい取組みということで、平和関係のボランティアでは、「ヒロシマ・ピース・ボランティア」があります。こちらには、200名の方が登録されていますが、その3分の2が65歳以上の方です。

環境関係もいくつかあります。「もりメイト倶楽部 hiroshima」は、間伐作業など活動が厳しいので高齢者の数は低いのですが、「広島市環境サポーター」や「下水道サポーター」は、かなりのウエイトで高齢者の方が占めておられます。